



# 大島中だより

## 《本校の教育目標》

- 思いやりにあふれる人
- 自ら学び、行動する人
- たくましく生きる人

令和2年10月9日

江東区立大島中学校

校長 林 昭文

HP <http://ohjima-chu.koto.ed.jp/>

## 前期を終えて

校長 林 昭文

6月に学校が再開してから、4ヶ月余り、本日10月9日で前期が終わり前期終業式(放送)を行いました。この間、これまで経験したことのないことの連続でした。「マスクの着用、毎日の検温、分散登校、その後の制約された中での授業、ヒトサラ・フタサラ給食、全校での集まりの中止・放送での実施、多くの行事の中止、制限された部活動・夏季大会の中止、等々」、今もこの状況は続いています。そんな中においても、生徒達は、さまざまな活動に一生懸命頑張ってくれました。また、再開後、休校等の措置をとることなく、本日まで教育活動を無事展開できましたのも、保護者の皆様のご家庭でのお子様へのご指導(特に健康面での)、地域の方々の子供達への見守りのお陰と心より感謝申し上げます。週明けの10月12日から後期が始まりますが、どんな状況であっても、「思いやりにあふれる人、自ら学び・行動する人、たくましく生きる人」という目標は変わりません。この目標実現のため、後期も教育活動を展開して参ります。前期に引き続きの保護者の皆様・地域の方々のご支援・ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

## 《大中の歩みについて》

### 【卒業生からの「大中の思い出」 PART II】

卒業生の方からの大中の思い出の2回目です。

#### ◎「僕等の大中時代」

(昭和51年3月卒業 同窓会長・元PTA会長 本橋 浩司様)

この話は、遡ること40数年前の出来事です。

《大中の周辺と校舎移転》 小さな町工場が点在して都営新宿線は建設中で、陸の孤島でした。そもそも大中の旧校舎は、旧大島南小学校のところにありました。現校舎は地域の力もあって旧細井化学の跡地に建てられました。旧校舎は、見てのとおり、校庭が狭く運動会は市川市にあった区の施設で行われました。自前の校庭で運動会ができた時は、とても嬉しかったことを思い出します。

《学校生活》 当時は、学校選択制はなく三大小、四大小(一部地域の児童)、五大小の児童はもれなく入学しました。四大小卒は、一ランク上勉強ができた印象があります。各学年6クラス、濃厚接触・三密バリバリ、振り返ると今のこの校舎によく入ったものだとつくづく感心します。制服は、男子は学帽に学ラン、女子はセーラー服と「今日から俺は」を体現しているツッパリ生徒が複数存在。(校長室に男子の標準の制服姿の見本の写真があります。)先生方はとても優しく・厳しく、悪さをすると愛情たっぷりの拳を振りましたが、怪我をさせないところは、さすがプロでした。(昭和の時代は保護者の暗黙の了解のもと有効な生徒指導でした。)今のように教室にエアコンがなく、窓を開けていると小名木川を挟んで南側の飼料工場から異臭が漂ったりして……。教室から船が行き交う小名木川の風景が好きでした。プールの季節になると、男子はもれなくスポーツ刈りでした。

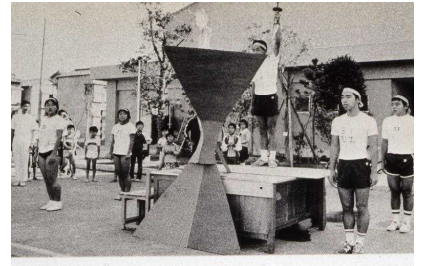
《後輩の皆さんへ》 人の成長は、それぞれです。他人ができて自分が今できなくてもいずれ花開くことは、いくつもあります。長い目を持って諦めないことです。スマホ世代の皆さんは、スマホで様々な情報が入手でき便利な時代ですが、情報に惑わされない冷静な判断力を養ってほしいです。頑張ってください。エールを送ります。

#### ◎「そのころの大中」

(昭和51年3月卒業 民生児童委員・東大島神社宮司 うつみ としゆき 内海 壽之 様)

昭和48年、五丁目の旧校舎に入学、4階建て並列校舎で2本の渡り廊下でつながって

いる建物でした。三大小・四大小の一部地区・五大小からの進学がほとんどで、一学年6クラス・240人位だったと思います。入学前からなかなかの評判で個性的な方々が多く在学しているとのことでした。制服は今のブレザーではなく、男子は学ランと呼ばれる詰襟ホワイトカラーの上着、女子はセーラー服で白のスカートです。学ランファッションとしても、短ラン・長ラン（丈の短いもの・長いもの）・襟高（首の処が少し高くなっていくもの）やズボンにはボンタンと言って太めのズボン、女子のスカート丈は今とは違ってロング丈がその当時の流行で、今ではテレビドラマで見るような生徒も多々おりました。それゆえ生活指導もそれなりに厳しい先生が多数おり、今では間違なくワイドショーものの中学校でした。しかしその後10年ごとに行われていた同窓会では、その当時の熱血指導の先生方への感謝の言葉がいつも上がっていました。3学年より今の新しい校舎に移りました。隣を流れる小名木川の水量は多く堤防も高い状態で、時折丸太を長く連ねたイカダが小舟に曳かれて行き来するのどかな光景も授業中の窓からも見られ、水量の多い時は船から出た波が堤防に当たり道路にはじけ出ることもあり



新校舎にて初めて行われた体育祭では、Ojima junior High Schoolの頭文字からO組・H組・S組と3チームにて競われ、全校生徒七百数十名で行う体育祭は熱狂圧巻と共に、みんなが一体となる思いで深い行事の一つでした。ちなみに体育祭のイベントの一つに聖火点灯と言うものがあり、七丁目の東大島神社から聖火リレーが行われ、点火後激しい競技が始まりました。

通学当時の3年間は、つらい事・苦しかった事・悩んだ事がいっぱいありました。しかし今思えばそれらすべてが今の自分の一つであり、それらすべてが楽しい思い出の一つです。今だからできるいっぱいのチャレンジ・今だからできる多くの失敗。そしてすべての人への感謝の心と思いやりの気持ちを忘れずに。

『為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり』

※前号でご紹介した小山清様の卒業年は「昭和34年3月」ではなく「昭和36年3月」です。訂正いたします。

## 《本年度学校評議員》

遅くなりましたが、本年度の学校評議員の方々をご紹介します。大島中学校の教育活動に対しまして、ご意見を頂戴いたします。1年間どうぞ、よろしくお願いいたします。

◎小山清様（大島七丁目町会長）、町田幸雄様（公団大島七丁目団地自治会長）、遠藤哲美様（新六ノ橋町会長）、松本みさお様（大島東町会長）、木野憲司様（大島八丁目第二団地自治会長）、左右田道男様（大島八丁目第三団地自治会長）、志水重夫様（イトピア東大島マンション自治会長）、宇野一行様（大島八丁目第一親和会会長）、中村光生様（ブルージュ東大島自治会長）、新山ふじ子様（都営大島九丁目アパート八号棟自治会長）、浅香俊雄様（都営大島九丁目自治会長）、北島千絵様（主任児童委員）、本橋浩司様（同窓会長）、関口朗太様（前PTA会長）、吉田志のぶ様（PTA会長）、久我友紀子様（PTA副会長）

## 《道徳授業について》

例年、9月の学校公開に合わせて、「道徳授業地区公開講座」を実施していましたが、本年度は、新型コロナウイルス感染防止のために、学校公開も道徳授業地区公開講座も中止となりました。公開講座で実施予定だった「生命の尊さ」をテーマに、各クラスで道徳の授業を行いました。1年生は、「マザーテレサのお話」、2年生は「難病を患った方のお話」、3年生は、「第二次世界大戦中のユダヤ人のお話」を題材に、「生命の尊さ」について考えました。公開講座にかわり、生徒達の感想を学年便りで紹介し、保護者の方々からご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

## 《着任教職員紹介》

産育休に入った越智好美主任教諭の後任として、9月30日より増岡舞臨時的任用教員が着任しましたのでご紹介します。

◎はじめまして、2年生と3年生の英語を担当する増岡舞と申します。6年間都内の中学校に勤めた後、外国の方に日本語を教える仕事をしていました。生徒に外国語を学ぶ楽しさを伝えられるよう、頑張っていきます。よろしくお願い致します。

